

総合建設会社の松井建設（東京都中央区）はさきごろ、東部ネットワーク（横浜市）の富山県砺波市にある「東部北陸物

流センター」で、オンサ

イトPPA（Power Purchase Agreement）モデル

送・運送業や物流センター事業を開始すると発表し

「管理業などを行っている。事業期間は本年4月

から2034年7月まで、年より東部北陸物流セン

ターの屋根

を賃借、「屋根借り」の形で「T.M

北陸ソーラ

ー発電所」

（容量10

20誌）を

設置して、

全量をFIT

T（固定買取制度）に

より売電し

てきた。

同発電所

と隣接する

屋根部分に

安川電機製の10誌×7台

京都新宿区）のコンサル

業補助金では松井建設の

他にアーバンエナジー

（豊地―神奈川県、N

Tエアノードエナジー

（豊地―山口県）らも採

扱われていた。



東部ネットワークの「東部北陸物流センター」（富山県砺波市）。斜線部分にPPA事業用の太陽光発電設備が新設される

松井建設 153・4キロ太陽光を自家消費

富山県砺波市内の物流センターで オンサイトPPPA事業実施へ

DMGCCジャパン製の9・9誌×3台を用い、年間発電電力量は14万7337・62誌時、C単153・4誌（パワコ）の排出量換算で年間約71・9誌となり、東部ネットワークの再エネの利用拡大とBCP対応に貢献する。

PPAモデル事業の立ち上げにあたっては、野原探採され、総合建設社としての補助金交付決定の第一号となっている。同事業補助金では松井建設の他にアーバンエナジー

発電した電力を同センターの利用電力の一部として供給する。パワコは原ホールディングス（東

（豊地―山口県）らも採扱われていた。